

8.15

スクラップ

No. 83

晶文社 SCRAP 通信



(株)晶文社営業部 ☎ 03(3255)4501 FAX 03(3255)4506 FAX用注文書は別紙です
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-12 URL <http://www.shobunsha.co.jp/> 価格表示は本体価格

坪内祐三最新刊絶好調!!

後3向まで前へ進む

7月31日配本 坪内祐三^著 本体1600円

ISBN 4-7949-6540-0 ブックデザイン 菊地信義

1979年、私は21歳だった… 植草甚一展、村上春樹『風の歌を聴け』、批評集『表層批評宣言』いずれもこの年だった。文学はどう変わったか。思想、教養、ライフスタイルの転換を体感させた時代の深層を深く静かに読み解く！ ますます目が離せない坪内祐三、注目の最新刊発売中です！



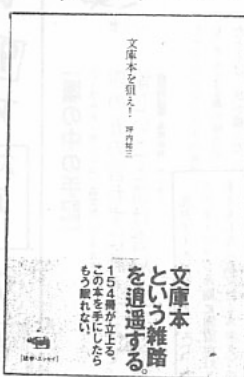
『ストリートワイズ』以来の
待望の本格評論集!!

前
向
き
に
ま
わ
れ
て
る
ぞ!!

表紙のサイは後ろ向きですが



ストリート
ワイズ
坪内祐三
品文社



がんと向き合って

上野 創 [著]

(晶文社・1400円)

二十歳の青年記者が、聖路加腫瘍になった。肺に数え切れない程の転移があった。医師の告知を衝撃の中で果然として聞いた。「面」と向かつて現実をつきつけられる痛みが、これほど鋭いとは思わなかった」。新聞記者として事実と心の動きを光明に記録していく。この本を読むと、命の瀬戸際にいる人間の心が告知や手術や抗癌剤治療で、どんな風に揺れるのがよくわかる。運々肺の三回の再発を乗り越えた。

病気が発見されてから、突然、契約、結婚。彼女の手記にはくは不覚にも涙落とした。「彼についてはいつも一人称だ。しゅわつとも一人称だ。『死』はない、私が考える『死』はない」と一人称だ。彼を生かすという視点で、自分を見つめられていないことと、悶に慨然とする」。病気との闘いの中で彼女は夫の「死」を二・五人称ぐらいにした。見事だと思った。夫婦ってなんだろう。いろんな事を考えさせてくれる。ファルマシア医学記事賞受賞。鎌田 実（諏訪中病院管理室）

地方紙書評 週刊朝日 堀載

8/10発売「月刊文藝春秋」インタビュー

9/10発売「クロワッサン」も出ます!!

大増刷中! 書評絶賛の声 **ホン**に続々!

天聲人語

がん患者としての体験を新聞に連載してきた2人の同僚の本が相次いで出版された。『私のがん患者術』（井上平三・岩波ブックレット）と『がんと向き合って』（上野創・晶文社）で、2人については昨年3月14日の本欄でも紹介した▼井上記者は自著の出版を見ることなく、この4月に亡くなった。がん宣告を受けてから10年、56歳だった。5年前にがんを告知された31歳の上野記者は、連載をしていた横浜支局から東京本社に転勤になり、記者活動を続けている▼2冊の本を読みながら

◀ 7/28 (日) 朝日新聞・読書面 ▶ 8/4 (日) 朝日・天声人語

書店主へ 店頭用販POP

新たに作成いたしました!! (ハガキ大)

貴店でぜひご活用をお願いします。

別紙 FAX注文書で"請求ください!"



「見事だ」と思った。
夫婦でなんとしよう。
いろいろな事を考えさせ
てくれる。——」
(7/28日)朝日 鎌田實氏